

講義配信システムで「チーム医療」を学ぶグループ学習が充実 全員で同時に文献調査し、議論も書き込んで授業を活性化



導入先

学校法人兵庫医科大学 兵庫医療大学さま

- 兵庫県神戸市
- 2007年開学。薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の3学部と大学院3研究科を有する。同一法人下の兵庫医科大学 医学部と連携し、「チーム医療」を担う人材を育成。



導入商品

- タッチディスプレイ「BIG PAD」PN-L702B (70V型)×32台
- インフォメーションディスプレイ PN-E702 (70V型)×2台
- PN-E602 (60V型)×2台、PN-V602 (60V型)×4台
- 業務用携帯端末「HandyBrain」RZ-F301×40台
- 2012年導入。ミーティングルーム30室と学内ホールなどにBIG PADを、食堂などにディスプレイを設置。HandyBrainは学生の出欠管理に活用。
- 販売：西日本電信電話株式会社 兵庫支店さま

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

本学の最大の特長である「チーム医療」を学ぶ学部混成の少人数グループ学習「チュートリアル」では、30室のミーティングルームに分かれて授業を行います。学習する全グループに対して、効率よく課題を説明したり、随時指導できる講義システムの導入を検討してきました。

各ミーティングルームに70V型BIG PADを設置し、講義配信システムで一斉に課題を説明。

ネットワーク経由で学生からの質問を受け、教員は随時アドバイスできるようになりました。

グループ全員で同じ画面を見ながら文献調査ができ、討議内容も書き込みながら学習できます。



学校法人兵庫医科大学
兵庫医療大学
副学長 内科学教授
末廣 謙さま

■ 導入の背景

「チーム医療」を身につけるための、 少人数グループ学習を効率化したい。

本学の最大の特長は、医師や薬剤師、看護師など医療現場における各分野の専門家が協力しながら行う「チーム医療」の担い手を育成することで、その学習は、薬、看護、リハビリテーション学部の全学部生を混成した少人数グループ単位で行っています。このグループ学習をより充実させるため、ネットワーク経由で教員の映像や資料を配信し講義を行うシステムを導入、ミーティングルーム30室に設置する機器を選定することになりました。

■ 選ばれた理由

講義配信システムのネットワークに接続可能。 情報検索、文字の書き込みにも使える。

設置する機器は、講義配信システムのネットワークにつなげて教員からの説明を聞くことができ、学習資料を全グループに一斉配信できるものが必要でした。また、与えられた課題を解決するための情報検索ができ、学生の意見を書いてまとめるホワイトボードとしての機能も求められます。BIG PADは、これらすべての役割を果たすことができるので、各ミーティングルームへの導入を決定しました。



各ミーティングルームに70V型BIG PADを設置し、授業やゼミ、会議で利用されている

■ 導入後の効果

全員で見られる大画面で文献閲覧。 学生からの質問に、いつでも教員がアドバイス。

グループ学習で、学生全員でひとつの画面を同時に見ながらネットワーク上の文献を調べたり、与えられた課題についてディスカッションした内容を、画面に書き込んで記録することができるようになりました。これまで教員が課題説明する際には、学生を学内ホールに集めて行っていたが、ネットワーク経由で学生が質問すれば随時教員が指導できるようになり、教育の質をさらに高めることができました。



学内ホールにもBIG PADを導入。プロジェクターと連携させ講演会や授業でも活用

■ 今後の展望

120V型相当の4面マルチで学内ニュース配信。 出席管理では業務用携帯端末も活用。

BIG PADと合わせ、食堂には60V型4面マルチディスプレイを設置。学生ラウンジ、受付ロビーなどにもインフォメーションディスプレイを計4台設置し、学内ニュースの配信や学内ホールでのイベント中継などに活用しています。また、業務用携帯端末「HandyBrain」も40台導入し、学生の出席管理システムとして活用しながら、より充実した授業を目指したいと考えています。



食堂に60V型4面の大画面マルチディスプレイを設置し、学内ニュース等を配信